



世界のクリスマスを知り、異年齢・異文化交流を図る

ネイパル森

ワールドクリスマス

1 事業のねらい

クリスマスをテーマとした国際文化に触れる活動を通して、日本や海外の風習に対する理解を深めるとともに、異年齢間、異文化間の交流を図る。

2 事業の概要

- 期日 R5.12.16(土)～17(日) 1泊2日
- 対象 小学4年生～6年生
- 人数 67名(74名応募)
- 場所 ネイパル森

3 プログラム

	14:00	14:15	15:15	16:30	17:00	18:00	19:00	20:45	22:00	
12/16 (土)	受付	開会式	活動1 「クリスマス・ゲーム」 (ALT紹介・班で交流)	活動2 「クリスマス・アドベンチャー」 (ナゾとき館内ラリー)	夕方の 集い	夕食	活動3 「クリスマス・クラフト」 (毛糸ランプシェード作り)	入浴等	点灯式	就寝
	7:00	7:15	9:30	11:30	11:45	12:45	13:00			
12/17 (日)	起床	朝の 集い	朝食	活動4 「クリスマス・パーティ」 (お菓子トッピング・クイズ・コンサート)	ふりかえり	昼食	閉会式	解散		

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 近隣地域の外国人 ALT と連携・協力
 - ・国際交流のための外国人スタッフとして、渡島管内の北斗市、鹿部町、森町の3市町のALTに協力を要請した。また、より確実にねらいを達成させるため、直接事前打合せに足を運んだり、スケジュールやプログラム内容を英語翻訳し、事前に確認してもらったりするなどの工夫をした。
- よりクリスマスらしさを体感するためのプログラム構成
 - ・全体を通して、ストーリーを設定することで参加者がより没入してプログラムに取り組めるよう工夫した。また、プログラム同士を関連付けることで、クリスマス事業としてより一貫性を持たせることができるよう工夫した。

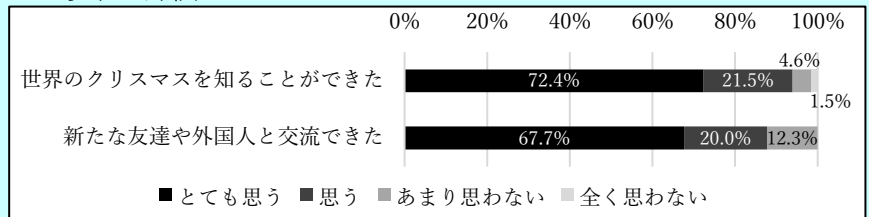


ゲームの中で ALT と交流



ランプシェードで点灯式

5 事業の評価



- 参加者アンケートから、「世界のクリスマス文化への理解」に関する項目で、90%以上が肯定的な評価をした。
- 参加者の声「ナゾを一緒にとくことで、より仲が深まった。」

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは「外国の文化を知ることができた」、「班で協力することができた」などの声が多かったことから、事業のねらいは概ね達成できたものと考えられる。
- 参加者は班内で交流を深めることができたと考えられるが、広く参加者同士が関わりをもつ場面が不足していたことから、活動単位のあり方に工夫が求められる。



企画のポイント

ストーリー性のあるプログラム構成と、近隣市町ALTとの連携・協力。